

MAKE

INZAI CHIBA JAPAN



新しい“インザイオリジナル”
生まれています！

Projects platform
that creates
new originality of
Inzai-city.



ORIGINAL



INZAI



“印西らしさ”をつくるプロジェクトをまとめた一冊！

Year 01 2019-2020

ABOUT MAKE INZAI ORIGINAL

“印西らしさ”を
つくれてみました。

千葉県印西市。整った街区には商業施設がたくさんあって不便はない。
街を囲む豊かな自然に癒され、都心へのアクセスもいい。
住めばわかる、快適な暮らし。

では、“印西らしさ”ってなんだろう?
そう聞かれると悩んでしまう人も少なくありません。
いいところはいっぱいあるのに、
なかなか具体的なモノやコトがないのが正直なところ。

それなら、印西らしさをつくれてみよう!!
そんなプロジェクトが、「メイクインザイオリジナル」。
今年生まれた3つのオリジナルコンテンツを観て、
印西のよいところを感じてもらえれば幸いです。

PROJECT 01

MOVIE

P.03-04

PR動画「印西バランス」



PROJECT 02

CURRY

P.05-06 印度じゃないよ、
印西市キーマカレー

PROJECT 03

COMIC

P.07-15

印西“あるある”4コマ



**PROJECT
01
MOVIE**

PR動画
「印西バランス」





魅力 印西って“バランス”がいい。
伝説のきつねに、
エクササイズで伝えてもらおう!!

PJ

MAKING of INZAI BALANCE



印西の「バランス」とは。

昨年は「印度」。さて今年は、何を打ち出すべきか……。企画会議の中で生まれたキーワードが“バランス”だ。都市と自然のバランス、代々暮らす住民と新しく住む人のバランス、都心と成田空港の両方に近いバランス、脈々と続く伝統と新しいカルチャーとのバランス……。印西が持つ“バランス”こそ、改めてアピールしていきたい。

そんなアイデアをもとに、昨年同様、印西市出身のCMディレクター・香取徹が企画と演出を担当。氏を中心となってコンセプトを固めていき、制作がスタートした。



人と自然とバランス・ダンス。

撮影は2019年10月から11月にかけて、印西市の各スポットで行われた。現代に蘇ったホンドキツネ「ホンド先生」が登場したのは、貴重な原生林を残す草深の森。キツネが暮らした時代を思わせる幻想的な林で、前半部分が収録された。

秋も深まる11月には、バックに市街がのぞく里山風景で知られる北総花の丘公園、「印度」でも登場した築山が特徴的な

牧の原公園で収録を行った。エキストラの印西市民100人が参加し踊るシーンは、あたかも古代の儀式のようなスペクタクルに。深い自然の中で育まれた“バランス”が徐々に都会的なイメージに切り替わっていく様は、豊かな住環境をもつ印西の魅力を小気味よく表現している。香取氏は、「市民の方々に踊ってもらうことで、この街のよさを再確認してもらうとともに、人と自然がバランスよく暮らせるような未来になったらいいなという思いを込めています」と語っている。あなたもこのダンスで、印西の素敵なバランスを体感してみてはいかがだろうか。



参加クリエイターたち



中毒性のある楽曲は、昨年につづいて、「Jazztronik」として国際的に活躍する野崎良太（左）の書き下ろし。得意分野でもあるダンスマュージックも相まって、ミュージック・ビデオとしても楽しめる動画となっている。独特な振付けを担当したのは、5人組ダンスクリエイティブユニット「TRIQSTAR」のリーダー“だーよし”（右）。2006年にはマドンナのワールドツアにも同行したという実力派だ。

結果

印西の“バランス”が、市内外7万人超の視聴者にヒット中!!!

PROJECT 02 CURRY

印度じゃないよ、印西市
キーマカレー



魅力

PJ

昨年度のPR動画
「印度じゃないよ、印西市」が
予想以上にヒット中！

せっかくだから、
オリジナル“印西カレー”を作ろう!!



印西のマイルドな魅力を表現した、
オリジナルカレー！

「印度じゃないよ、印西市」の反響を受けて作られた、オリジナルのレトルトカレー。ベースはインド風のチキンキーマカレーなのだが、辛さは甘口から中辛の間くらい。どこか和風味も感じられる、印西らしいマイルドなカレーとなった。国産鶏使用、化学調味料は無添加なので、お子様や刺激の強いものが苦手な方にも安心のプロダクトだ。

MAKING of INZAI ORIGINAL CURRY



「印度じゃないよ、印西市」

「印度」と間違えて「印西」にきてしまったインド人の青年が、印西の各スポットで市民と踊る軽快なPRムービー「印度じゃないよ、印西市」。およそ自治体らしからぬ“ボリウッド風”的なポップな同作は、2018年11月の公開からYouTubeの再生回数が15万回を超える、異例の大ヒットとなった。惜しくも受賞はならなかったものの、第8回観光映像大賞のファイナリストにも選ばれた。今年はその反響を受け、続編（？）として、なんとオリジナルの印西カレーをつくることに。



検討を経て完成したオリジナルカレー

様々な工程を経て、実際にできあがったオリジナルカレー。最終段階では、板倉市長、杉山副市長、女性職員有志によるシティプロモーション検討委員会が試食会を実施。「印度のカレーといえば羊肉のイメージが強いのだが、そうなると本当に“印度”になってしまう。“印度じゃない”ということで鶏肉にして正解だった」と市長も太鼓判。担当者一同も納得の出来ばえになった。

結果

印西ならではのマイルドな“印西カレー”は即日完売の人気！



販売会では、限定1000個が完売！

オリジナルカレーは、2019年10月に千葉ニュータウンで行われたイベント「いんざいふるさとまつり」の特設ブースで販売された。「どうせノリで作ったんでしょう。本当においしいのかな？」といった市民的好奇心も相まって、話題性もばっちり。パッケージをあしらったポスターと、ムービー冒頭を飾る「印西市」看板のノボリで彩られた、手作り感あふれる印西市ブースには、カレーを買い求める人々が集結。製造分1000個は即日完売となった。

パッケージもみどころ



「印度じゃないよ」を象徴する「印度人」の2人が描かれたイラストとパッケージデザインは、映像ディレクターを務めた香取徹によるオリジナル。ムービーの世界観を引き継ぐ“ゆるさ”が印象的だ。

**PROJECT
03
COMIC**

印西“あるある”4コマ

魅力 ↓
PJ

街なかには、皆が知ってる
面白い「ネタ」がある!!

市民からネタを募って、
マンガで発信!!

“あるある”をPOST!
CONTACT

「MAKE INZAI ORIGINAL」
ホームページにて、あるあるを募集!

マンガ化!
PROFILE
マンガ家 中村ゆうひ
印西市出身の漫画家・イラストレーター。著作に『週刊少年ガーリー』(講談社)全3巻など。
Twitter: @nxxxmura

マンガ家中村ゆうひさんが「あるある」を元に4コマを作成!
印西出身者ならではのディテールも見どころです。

結果 複数メディアで取り上げられ市の認知度向上!

ストーリー

印西の“あるある”が宇宙人を救う!

印西在住の少女・西住印は、不時着したアルアル星人に遭遇する。彼女の宇宙船を動かすためには、その土地の人が「あるある!」といつ共感してしまう話題を持つエネルギー、“あるあるエネルギー”が必要だという。そこで2人は、印西の「あるある」を探し、様々な人やスポットを訪ねていく。

登場人物



西住印

印西市に住む女の子。10歳。公園でアルアル星人と会う。通称しるちゃん。



アルアル星人

印西市に不時着。宇宙船を動かすため“あるあるエネルギー”を集めたい。通称あるちゃん。



西住 南 西住益夫 ともみちゃん ともみちゃんのお姉ちゃん



ユウタ ユウタのじーちゃん ヒロシ りんな

1話 印西はどこですか?

印西市民のコメント

「いんぜいしへ読むの?」「いんにし?あのジョイフル本田のあるところ?」知らない人には、よく聞かれますよね……(笑)。(40代女性・牧の原在住)

INFO



印西市の位置

印西市は千葉県の北西部に位置する。市と周辺の2つの市に広がる「千葉ニュータウン」があり、三方を利根川、印旛沼、手賀沼に囲まれており、水と緑が豊かな環境に囲まれる。





印西市民のコメント

知らない人は「いんざい」と読むんです」から説明することが多いんです。私たちにとっては普通なのに……ちょっと、ガッカリしますよね？もっと「いんざい」って知られてほしい！（30代女性・木下在住）

2話 印西はどう読みますか？

印西市民のコメント

「印西市は“住みよさランキング”でいつも常連ですよね！」と他市町の人々に話を振られるが、ずっと過ごしているのでどこが特別なのかわからない。結果、とりあえず適当に相槌をうちます。（30代男性・印西市勤務）

印西は住みよいですよ？

3話



INFO

住みよさランキング

全国の居住区域を対象に、「住みよさ」を偏差値化して集計・発表している、東洋経済新報社によるランキング。印西市は2018年まで7年連続の総合1位で知られていたが、2019年に指標の基準が変わってしまい、惜しくも首位陥落。それでも14位と高順位をキープしている。

4話

いんザイ君に会いたいです！

INFO



いんザイ君

2011年11月に就任した、印西市のマスコットキャラクター。市のシンボルのコスモスと同じピンク色で、印西の“印”をお腹にもっている。市内のイベントで登場することも。

印西市民のコメント

“あるある”なのか微妙かもですが、いんザイ君って素朴にかわいいですよね。グッズも人気みたいです。家にも欲しいなあ。（20代女性・木下在住）



印西市民の コメント

昔から印西に住んでいる方は、言葉遣いが荒っぽい気がします。女の人口でも相手を呼ぶときは「おめーは」とか。ぶっきらぼうで、怒り口調で。知らない人が聞いたら全然分からないうことも。でも、みんな優しいんです(笑)
(30代男性・小林在住)

5話 印西弁は何て言ってますか？



印西市民の コメント

キジや野ウサギ、イノシシ、狸……自然が豊かすぎて、すこし外出しただけ珍しい動物に会えるから得した気分になります。(20代女性・印西市勤務)



印西は自然いっぱいです

(7話) 印西に集まっています



印西市民の コメント

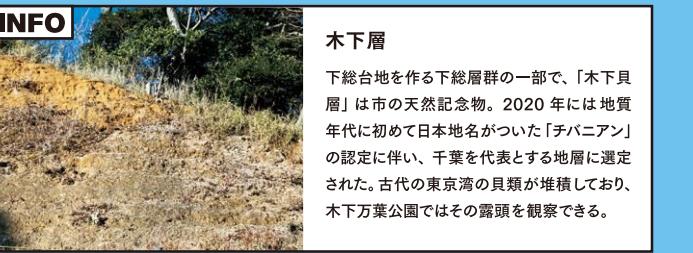
実は色々な施設が集まっていますよね。印西って何があるの?と聞かれ、データセンターの存在までも晒していいのか悩み、結局「ジョイフル本田とか、コストコとかあるよー」に留めておくんです(笑)。





印西市民のコメント

住んでいるものの、千葉ニュータウンって曖昧な名前ですよね……。印西が千葉ニュータウンだと思われたり、ニュータウンが千葉市にあるのと勘違いされたりもします。(20代男性・印西市在住)
*千葉ニュータウンは白井市、船橋市、印西市にまたがるエリアです。



本埜といえば、白鳥。よくテレビで中継しているですが印西の風物詩ですね。越冬で毎年自分たちの身近なところに帰っているということは、考えてみたら新鮮です。(40代女性・笠神在住)



白鳥の郷

毎年、越冬のために沢山の白鳥が飛来することで知られる、笠神の水田。「本埜白鳥を守る会」が1992年より整備を行なっている。多い年では1000羽以上が集まる様は圧巻。白鳥たちは2月中旬に、シベリアへと旅立っていく。





またきて印西

作者より コメント

当たり前に過ごしていた印西ですが、思ったより色んな“あるある”に会えて楽しかったです。宇宙人が来ているかは分かりませんが(笑)、これからも楽しい“あるある”が生まれていくでしょう!

(中村ゆうひ)



INFO



吉高の大桜

吉高地区にある市の天然記念物で、樹高300年を超える孤高の一本桜。樹高10.6メートルの巨大なヤマザクラで、開花の時期には、ピンク色の小山のような景観に。



INFORMATION

MAKE INZAI ORIGINALはホームページで情報発信中!



最新プロジェクトをチェック!

- ▼新しいプロジェクトの情報を発信しています!
- ▼“あるある”4コマをはじめ、ホームページ上のオリジナルコンテンツも楽しめます



「マイケインザイ オリジナル」
ホームページ
<https://makeinzaioriginal.com/>



CONTACTページから、投稿!!

- ▼HPコンテンツに関するネタ、ご意見
- ▼新しいプロジェクトのアイディア
- ▼進行中のプロジェクトについてのご質問、参加希望など

いつでも募集しています!
お気軽にお問い合わせください。

お問合せ: contact@makeinzaioriginal.com



FUTURE PLAN

これからのMAKE INZAI ORIGINAL

MAKE INZAI ORIGINALは2019年度にスタートし、
2021年度まで継続的にプロジェクトを行っていきます！

Year 01 2019年度

MAKE INZAI ORIGINAL
スタート!

1

2019 OCT - 2020 MAR
Year



2

2020 APR - 2021 MAR
Year



MOVIE



CURRY

Year 02 2020年度

印西市独自のカルチャーを、
多方面から深掘り！

●印西文学

印西の魅力を深掘りする新しい物語。

●YouTube 講座

あなたも、印西発のYouTuberに！

●印西ご当地グッズをつくろう。

And more...

Year 03 2021年度

印西発的一大作品を公開！？

最終年度では、動画作品をバージョンアップした
一大プロジェクトを企画中！

印西市民の手でクライマックスを飾ります。



MAKE INZAI ORIGINAL

Year 01

2020年3月発行

企画	株式会社ボニーキャニオン 株式会社BAKERU
編集・制作	BAKERU (鈴木聰、大沢景)
デザイン	齋藤俊輔
HPデザイン	Daisuke Yoshida (SLEEP.)
HPコーディング	Yuuki Noguchi (ng)
撮影	上樂博之
印刷・製本	歩プロセス
発行	印西市企画財政部 シティプロモーション課 千葉県印西市大森 2364-2 ☎ 0476-33-4426(直通)



MAKE
IN-ZAI
ORIGINAL

メイクインザイオリジナル 

発行：印西市